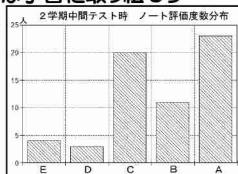


なんでやねん

ノート作りを通して 計画的で継続的な学習に取り組もう

中間テストと同時にノート点を点検しました。板書を
 ノートする方法から、ノートプリントを利用する
 方法に変えてからの本格的なノート点検でした。

大半の人は、1学期から引き続いて努力を重
 ねていることがよくわかりました。しかし、努力
 を継続することから脱落し始めている人が一部に
 出始めています。右の表を見てもノートに向かう姿勢
 が、テスト成績にもほぼ出ています。



2学期中間テストの成績と ノート評価の関係	
ノートの評価	テスト成績の平均
A	70.7
B	56.8
C	61.0
D以下	36.7

なお、今回のノート評価から、「ノートの右側の完
 成度」が大きな意味を持ちます(右側に自分でまとめたことがなければC(5段階評価
 で3)以下の評価にしかありません)。

ノートとテスト成績の関係をを見ると、日頃のノートに取り組む姿勢の差が、テスト
 結果に出ているように思います。授業中に、君たちのノートの状態を観察してい
 ると、普段から右側をこつこつと取り組んでいる人、テスト前に急に仕上げる人、
 テストまで全くしていない人の3種類の傾向に分かれます。

テスト結果との関係から考えると、ノート評価が「A」や「B」なのにテスト結果
 が、あまり良くない人は、学習計画を見直す必要があります。

一度にたくさん覚える自信のある人なら、テスト前に一気に勉強しても
 効果があるでしょう。でも、一度に覚えることには限界があります。普段からコツコ
 ツとしておいて、テスト前に読み返せば、大量の知識を記憶することもできます。

ノートの評価が「B」や「C」の人でもテストの成績が良い人がいます。その人た
 ちの場合は、普段からていねいにノートに取り組んでいれば、もっと確実に学力を
 高めることができます。横着したらそれなりの結果しか出ないものです。
 その結果は、半年後、あるいは1年後という長い期間において現れるはずです。

ノートの右側を完成する課題を通して、自分の生活習慣を振り返り、計画的な学
 習を継続できる習慣を身につけましょう。「横着」は学力向上の敵です。

